

令和4年度 大宮開成中学校 自己評価シート

目指す学校像	「国際感覚豊かな人間教育」に基づき、高い志を持った21世紀のリーダーとしての品格を備えた人材を育成し、地域から高い評価を得られる進学校
--------	---------------------------------------------------------------------

重点目標	(1) 国際的視野に立ち、未来を創造する知性と探究心を磨く学習指導 (2) 生徒と教師が手を携え、高みを目指す志を育む進路指導 (3) 自立・自律の精神と多様性を育む学校活動
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

評価項目		年度当初			年度末		
		現状と課題	具体的方策	評価指標	達成状況	達成度	次年度の課題と改善策
1	国際的視野に立ち、未来を創造する知性と探究心を磨く学習指導	①国際理解教育の実施	・日本文化・異文化・比較文化学習の実施 ・GVSなど英語教育行事の実施	・スピーチコンテスト・開成文化週間の満足度 ・GVSの満足度 ・生徒の感想	スピーチコンテストのテーマを変更しネイティブ講師の添削指導を増やす等内容が充実した GVSの満足度は非常に高かった	A	日本文化・異文化・比較文化の学習意欲を高め英語教育行事の更なる充実を図る
		②英語教育の強化	・英語4技能を育成する授業(双方向授業・英会話) ・英検受検促進	・英検の目標取得級達成率(1年4級以上・2年3級以上・3年準2級以上)	1年 93.6%(昨年度比12.4%増) 2年 86.2%(昨年度比7.3%減) 3年 86.7%(昨年度比11.9%増)	A	全学年で100%に近づくよう検定の取得意欲を高めていく
		③探究活動を土台としたプレゼン教育の充実	・特活・道徳の時間を充実させ探究心を刺激する ・模擬プレゼンと様々な外部コンテストへの参加促進	・文化祭・開成文化週間の満足度 ・探究活動への参加意欲	3年ぶりに文化祭を2日間公開実施できた 文化祭・開成文化週間に探究意欲を持ち積極的に参加していた	A	充実した文化祭・開成文化週間の実施、生徒のプレゼンテーション能力の更なる向上を目指す
2	生徒と教師が手を携え、高みを目指す志を育む進路指導	①学習習慣の確立	・授業理解度の向上 ・補習・小テスト等による学力向上 ・家庭学習習慣定着のための年間指導計画作成	・定期試験・模擬試験の結果 ・家庭学習時間数 ・学習指導に関する生徒アンケート	授業の内容・進度・主体性の満足度は高水準を維持していた 課題・小テスト等に前向きに取り組んでいる割合が全学年で上昇している	A	平常授業の質を更に高め、定期試験・模擬試験の成績向上を目指す 家庭学習の習慣が定着するよう指導する
		②一人ひとりを大切に するキャリア教育の徹底	・卒業生・外部講師によるキャリア講演の充実 ・細やかな二者面談・三者面談の実施	・愛知和講演の満足度 ・生活指導に関する生徒アンケート	愛知和講演の満足度は昨年度より上昇したが、全体的には低かった 中学校舎に面談スペースを増設し二者面談が活発に行われた	B	卒業生によるキャリア講演を充実させていく 自己管理ノートの活用の理解を深めていく
3	自立・自律の精神と多様性を育む学校活動	①校訓「愛知和」に基づく心の教育	・愛知和講演・人権教育の実施 ・学校行事への積極的な生徒の参加	・講演の事前・事後指導状況 ・行事実施状況 ・各学校行事に関する生徒アンケート	各学年の校外研修の満足度は非常に高い 芸術鑑賞会・体育祭等の学校行事の満足度は昨年度より上昇した	A	愛知和講演を通して生徒の人権意識を高めていく 生徒主体の学校行事を増やしサポートしていく
		②部活動の適切な実施	・効率的な活動時間の確保 ・外部コーチの充実 ・学業との両立指導	・各部活動の大会等実績 ・部活動に関する生徒アンケート	部活動に対する満足度は学年が上がるにつれて下がっているが、全体的な満足度は非常に高い チアダンス部が全国大会出場	A	今後も魅力ある部活動をおこない、学習とのバランスを追求していく
		③安心・安全な学校環境づくり	・挨拶の励行 ・登下校のマナーの徹底 ・いじめの抑止・早期発見 ・生徒対応の研修	・学校生活状況調査 ・生徒指導に関する生徒アンケート ・保健室利用状況	挨拶はよくできているが、登下校時のマナーの苦情は多かった 保健室利用者のべ数は昨年度より減少した(▲425人)	B	継続して登下校時のバス内マナー指導を強化していく 生徒の様々な問題に対応するため職員研修を実施していく

達成度	A : ほぼ達成 (80%以上)	C : 変化の兆し (40%以上)	(40%未満)
	B : 概ね達成 (60%以上)	D : 不十分	

令和4年度 大宮開成高等学校 自己評価シート

目指す学校像	広い視野と高い教養を身につけた知性豊かで「調和のとれた人間教育」を図り、地域から高い評価を得られる進学校
--------	------------------------------------------------------

重点目標	(1) 国際的視野に立ち、未来を創造する知性と探究心を磨く学習指導 (2) 生徒と教師が手を携え、高みを目指す志を育む進路指導 (3) 自立・自律の精神と多様性を育む学校活動
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

		年度当初			年度末		
	評価項目	現状と課題	具体的方策	評価指標	達成状況	達成度	次年度の課題と改善策
1	国際的視野に立ち、未来を創造する知性と探究心を磨く学習指導	①海外研修等を含めた国際理解教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 海外研修(夏期ホームステイ)の実施 関西研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 校外研修の実施状況 校外研修行事に関する生徒アンケート 	夏期ホームステイが3年ぶりに実施ができた 関西研修も実現でき、満足度は90%を超えた	A	海外研修は全員参加のものを再開する 満足度の高い研修になるようにする
		②総合的な探究の時間を中心とした探究活動	<ul style="list-style-type: none"> 愛知和ラーニング Core/Pro講座の充実 プレゼン・論文の発表 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による探究活動の成果発表 探究活動に関する生徒アンケート 	生徒による探究活動の発表の場面は足りなかったが、愛知和ラーニングの満足度は昨年度より上昇した	B	引き続き特色のあるPro講座を創設する 論文作成では外部機関と連携して指導の質を高める
2	生徒と教師が手を携え、高みを目指す志を育む進路指導	①一人ひとりを大切にする進路指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> HR・保護者会での進路情報の伝達 細やかな二者面談・三者面談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 進路・学習調査状況調査 難関大学の実合格率 進路指導に関する生徒・保護者アンケート 	難関大学の実合格率は上昇した 大学見学・二者面談・三者面談・HRでの進路指導等の満足度が非常に高かった	A	引き続き二者面談・三者面談・HR等での細やかな進路指導を継続し、一人ひとりの生徒の進路実現をサポートする
		②大学受験に対応した教科指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 放課後補習の開講 愛知和ラーニング 入試対策講座の充実 夏期・春期講習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 補習・講習の実施状況 学習指導に関する生徒・保護者アンケート 	授業に関する満足度は高水準を維持していた 夏期講習・春期講習・放課後補習のラインナップは充実していた	A	平常授業・各講習・補習の質を向上させ、大学受験への対応を目指す
		③大学合格実績の向上	<ul style="list-style-type: none"> 入試情報の分析と伝達 英検の受検促進 東大プロジェクトの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 旧帝大合格数 国公立大合格数 早慶私立医大合格数 難関私立大学合格数 	6年連続東京大学合格 国公立大現役合格数130名 早慶私立医大現役合格数136名	A	今後も旧帝大をはじめとした国公立や難関私立大の合格者を安定的に輩出する
3	自立・自律の精神と多様性を育む学校活動	①生徒主体の学校行事の実施	<ul style="list-style-type: none"> 愛知和講演・人権教育の実施 学校行事への積極的な生徒の参加 	<ul style="list-style-type: none"> 行事实施状況 各学校行事に関する生徒アンケート 	愛知和講演の満足度は他行事に比べて低くなっているが、山梨交流合宿・関西研修の満足度は非常に高い	A	多様な講演者の発掘 文化祭・体育祭・合唱祭の運営を更に生徒中心の体制に移行する
		②部活動の適切な実施	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な活動時間の確保 外部コーチの充実 学業との両立指導 	<ul style="list-style-type: none"> 各部活動の大会等実績 部活動加入率・活動実態 部活動に関する生徒アンケート 	アーチェリー部・チアダンス部・薙刀部が全国大会に出場し、その他の部活動も活発に活動していた	A	外部コーチと連携し、活動の効率化を図り、練習の質を高める
		③安心・安全な学校環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の励行 登下校のマナーの徹底 いじめの抑止・早期発見 生徒対応の研修 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活状況調査 生徒指導に関する生徒・保護者アンケート 保健室利用状況 	挨拶はよくできているが、登下校時のマナーの苦情は多かった 保健室利用者のべ数は昨年度より増加した(+769人)	B	多様な悩みを抱える生徒に対するケアができるように職員研修を実施していく

達成度	A：ほぼ達成 B：概ね達成	(80%以上) (60%以上)	C：変化の兆し D：不十分	(40%以上) (40%未満)
-----	------------------	--------------------	------------------	--------------------